

授業科目 病態生理・治療学IV

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
林 千 治 他		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 産婦人科、小児科、腫瘍学における各疾患と病態生理ならびに検査、治療について学ぶ。 がん治療における最新の知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 産婦人科、小児科、腫瘍学における疾患や治療法についての基礎的知識を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1～5回 腫瘍学における主な疾患と診断・治療法 がん治療における最新の治療 6～9回 小児科疾患の主な症状と診断・治療 10～13回 女性生殖器疾患の主な疾患の病態、症状、診断、治療法 妊産褥婦、新生児の異状における病態と診断・治療 流早産、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、妊娠高血圧症候群、 帝王切開 胎児ジストレス 14～15回 神経内科的な主な疾患と診断・治療法 パーキンソン症候群 アルツハイマー病 筋萎縮性側索硬化症				今井 腫瘍学 5回 小児 4回 産科 4回 今村 徹 神経内科 2回
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、定期試験			【履修上の留意点】 各科目により講義日が異なるため、連絡や掲示に留意すること		